

平成 29 年度「健やかな身体」育成プログラム

学校番号：27003
学校名：札幌市立発寒小学校

「健やかな身体」育成プログラムのポイント		◎運動量の確保と健康・食育の両輪による身体の育成		
項目名	項目内容	項 目 内 容 の 具 体		
目標	「健やかな身体」の育成に係る目指す子ども像	☆進んで運動に取り組み、生き生きと活動する子ども ☆自分の身体を知り、健康を維持しようとする子ども		
「健やかな身体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○体育授業の改善に向けた外部講師の導入 ○休み時間における跳び縄運動の充実 ○日常の遊びの量や質を改善する取組	【成果】 ⇒ダイナミックな体育授業や意欲を引き出す授業作りができた。 ⇒縄跳び運動を通して、どの子どももスキルアップを図ることができた。 ⇒日常の遊びを通して外遊びが好きな児童が増えてきた。	【課題】 ■運動量の確保に向けた体育授業の質的転換 ■縄跳び運動のスキルアップを目指した検定システムの改善 ■日常の遊びが活性化するための環境整備
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○保健指導から健康教育へ視点を変える ○「身体作りは食育から」の視点にたった授業づくり ○家庭と一体となった健康教育・食育のための働きかけ。	【成果】 ⇒健康教育と食育を年間2回ずつ実施して児童が健康に対する意識を高め、日頃の生活を振り返るようになってきた。 ⇒保健便り、給食便り、PTA活動を通して保護者と一体となった健康意識が育ってきた。	【課題】 ■健康と食に関しての授業カリキュラムの整備 ■家庭に働きかける場の提供と啓発
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	各分野の継続		
	A 体育に関する指導の充実	○外部講師による授業補助を生かし、運動量を確保した授業づくり。 ○委員会活動と連動させた、休み時間における縄跳び運動の発展、充実。 ○日常遊びの量や質を改善するための環境整備（常設コートや地面の白線等）と利用の促進。		
	B 健康に関する指導の充実	○保健指導から健康教育へ視点を変えた授業づくり。 ○身体作りは食育の重要性を確認する授業づくり。 ○各種便りやPTA活動とも連動させた、家庭と一体となった健康教育・食育のための働きかけ。		
検証の方法	各種調査等の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○実践研究発表会での参加者、助言者、協力者の意見		